

## 第2次広島県がん対策推進計画の目標

## 【全体目標】

項目		現状	目標	現状の出典
◎ 75歳未満の年齢調整死亡率(人口10万対)	男女計	80.5人 <sup>(H23)</sup> 【全国20位】	72.5人	(国立がん研究センター がん対策情報センター)
	男性	106.6人 <sup>(H23)</sup> 【全国25位】	95.9人	
	女性	56.9人 <sup>(H23)</sup> 【全国14位】	51.2人	
◎ すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上				
◎ がんになっても自分らしく豊かに生きることのできる地域社会の実現				

## 【分野目標及び参考指標】

## (1) がん予防

項目		現状	目標	現状の出典
ア たばこ対策の強化				
◎ 喫煙率	成人男性	26.9% } <sup>(H23年度)</sup>	22%以下	県民健康意識調査 (広島県)
	成人女性	5.5% }	5%以下	
◎ 禁煙・分煙実施の公共機関等の割合	公共機関	92.4% } <sup>(H24.5)</sup>	100%	(広島県健康対策課)
	学校	100.0% }	100%	
	病院	100.0% }	100%	
イ 生活習慣の改善				
1日食塩摂取量		10.9g (H17-19年度)	8g以下	国民健康・栄養調査 (厚生労働省)
1日野菜摂取量		261g (H17-19年度)	350g以上	
1日平均歩数	20歳～64歳	成人男性 8,252歩 } <sup>(H17-19年度)</sup>	9,700歩以上	
		成人女性 7,109歩 }	8,600歩以上	
	65歳以上	成人男性 5,584歩 }	7,000歩以上	
		成人女性 4,718歩 }	6,200歩以上	
多量飲酒者の割合	成人男性	4.2% (H23年度)	3.2%以下	県民健康意識調査 (広島県)
	成人女性	1.0% (H23年度)	0.2%以下	
禁酒・断酒指導実施の市町数		16市町 (H23年度)	全23市町	(広島県健康対策課)
ウ 感染症対策の強化				
◎ 肝炎ウイルス検査実施体制整備済みの職域(事業所)割合		33% (H23年度)	50%以上	職域での肝炎対策実施 状況調査(広島県)
◎ 肝炎ウイルス検査で発見された、肝炎ウイルスキャリアの受診率	B型肝炎ウイルス (HBV)キャリア	48% } <sup>(H14-21年度)</sup>	60%以上 (H28)	H21年度厚生労働 省研究班調査
	C型肝炎ウイルス (HCV)キャリア	65% }	75%以上 (H28)	
◎ 子宮頸がん予防ワクチン接種率		77.0% (H23年度)	85%以上	(広島県健康対策課)

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

(2) がん検診

項目		現状	目標	現状の出典	
<b>ア 科学的根拠に基づくがん検診の実施</b>					
市町における、科学的根拠に基づくがん検診の実施		全23市町	全23市町で継続実施	(広島県がん対策課)	
<b>イ がん検診の精度向上</b>					
◎ 市町検診の精密検査受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	76.2%	(H21年度)	80%以上	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	76.0%			
	大腸	65.0%			
	子宮	54.5%			
	乳	70.6%			
◎ 市町検診の精密検査未把握率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	17.2%	(H21年度)	5%以下	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	17.9%			
	大腸	22.8%			
	子宮	39.4%			
	乳	26.5%			
県独自の事業評価項目を8割以上実施の 市町数	胃	10市町	(H23年度)	全23市町	(広島県がん対策課)
	肺	7市町			
	大腸	9市町			
	子宮	9市町			
	乳	8市町			
職域検診の精度向上に向けた、県・保険者間の連携		-	連携体制構築	(広島県がん対策課)	
<b>ウ がん検診の受診率向上</b>					
◎ がん検診受診率 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	32.6%	(H22)	50%以上	国民生活基礎調査 (厚生労働省)
	肺	23.3%			
	大腸	23.3%			
	子宮	40.0%			
	乳	36.9%			
◎ 市町実施のがん検診受診者数 〔※対象は40歳～69歳 子宮がんのみ20歳～69歳〕	胃	44,747人	(H22年度)	6割増	地域保健・健康増進 事業報告 (厚生労働省)
	肺	63,701人		10割増	
	大腸	61,821人		10割増	
	子宮	148,707人		3割増	
	乳	93,333人		4割増	
「広島県がん検診推進員」養成研修の実施市町数		12市町 (H25.1)	全23市町	(広島県がん対策課)	
「広島県がんよろず相談医」認定医師数		養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)	
「広島県がん検診サポート薬剤師」認定薬剤師数		養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)	
県独自の受診者数調査回答率80%以上の維持		82.4% (H23年度)	80%以上	(広島県がん対策課)	

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

(3) がん医療

項目		現状	目標	現状の出典		
<b>ア 医療提供体制の充実強化</b>						
◎	拠点病院の機能強化と医療連携の充実による、がん医療の均てん化の推進	全7医療圏に拠点病院整備 (国指定11、県指定5) (H24年度)	機能評価の実施 及び体制充実	(広島県がん対策課)		
	拠点病院の地域連携パス適応患者数	2か月延べ285件 (H24.6-7)	現状より増加	拠点病院現況報告		
◎	「広島県がん医療ネットワーク」による医療連携体制	5大がんの ネットワーク構築 (H24年度)	運用の検証実施	(広島県がん対策課)		
「広島県がん医療ネットワーク」参加施設数	乳	178施設	(H25.3)	現状より増加 (広島県がん対策課)		
	肺	215施設				
	肝	263施設				
	胃	303施設				
	大腸	269施設				
	「広島県がんよろず相談医」認定医師数【再掲】	養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)		
	「広島県がん検診サポート薬剤師」認定薬剤師数【再掲】	養成開始 (H24年度～)	累計900人	(広島県がん対策課)		
	「広島県がん医療ネットワーク」の検診施設等における、がん早期発見体制の強化	検診マニュアル作成 (H24年度)	マニュアルの普及と 実践の拡大	(広島県がん対策課)		
◎	小児がん医療提供体制の拠点化の推進	広島大学病院を 中心に一定の集積 (H24年度)	集約化の推進と 連携強化	(広島県がん対策課)		
	5大がん以外の医療提供体制の情報提供	現状把握が不十分 (H24年度)	県民への情報提供の充実	(広島県がん対策課)		
<b>イ 医療内容等の充実</b>						
◎	がん治療の各分野 の人材育成と適正 配置等	拠点病院の「放射線治療専門医」 数	計21人	10人増	拠点病院現況報告	
		拠点病院の「医学物理士」数	計4人	5人増		
		拠点病院の「がん薬物療法専門医」 配置	9/16拠点病院	(H24.9)		全拠点病院
		拠点病院の「がん薬物療法認定薬 剤師」配置	11/16拠点病院			全拠点病院
		拠点病院の「がん化学療法認定看 護師」配置	15/16拠点病院			全拠点病院
		各圏域の拠点病院の学会病理専 門医(常勤)の配置	6/7圏域			全7圏域
◎	「高精度放射線治療センター(仮称)」の運営開始	整備中 (H22年度～)	運用開始(H27)	(広島県がん対策課)		
	拠点病院における放射線治療の連携体制の整備	機能・役割分担等の検討中 (H24年度)	連携体制整備	(広島県がん対策課)		
	レジメンの審査体制の整備	—	外部審査体制の検討	(広島県がん対策課)		
	周術期の口腔ケア提供体制の普及	モデル事業実施、 提供体制整備着手 (H20年度～)	普及・充実	(広島県がん対策課)		

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」

(4) 緩和ケア

項目		現状	目標	現状の出典	
<b>ア 施設緩和ケアの充実</b>					
緩和ケア病棟のある二次保健医療圏域数		5/7圏域 (H24年度)	全7圏域	(広島県緩和ケア支援センター)	
◎	施設緩和ケア(病棟, チーム, 外来)の活動実績の把握等	整備状況の把握 (H24年度)	活動実績の把握・評価・公表	(広島県緩和ケア支援センター)	
<b>イ 在宅緩和ケアの充実</b>					
◎	地域の実情を踏まえた在宅緩和ケアの体制づくり	—	在宅緩和ケアコーディネーター配置等	—	
在宅緩和ケアに係る地域資源マップを整備している二次保健医療圏域数		—	全7圏域	—	
介護保険施設等へのアドバイザー派遣施設数		90施設 (H16-23年度累計)	70施設増	(広島県緩和ケア支援センター)	
<b>ウ 人材育成の充実</b>					
◎	多職種人材育成, 緩和ケア医師研修の質の充実	福祉関係の専門研修修了者数	655人 (H16-23年度累計)	500人増	(広島県緩和ケア支援センター)
		拠点病院での「緩和ケア・がん性疼痛認定看護師」の複数配置	66人 (H24.9)	全拠点病院での複数配置	拠点病院現況報告
		医師研修(基礎研修)修了者数	1,024人 (～H23年度)	—	(広島県緩和ケア支援センター)
		内 拠点病院医師	672人 (～H23年度)	400人増	
		内 診療所医師	182人 (～H23年度)	600人増	
	医師研修(フォローアップ研修)修了者数	—	300人	—	
<b>エ 緩和ケアに対する正しい理解の促進</b>					
◎	緩和ケアに対する県民・医療従事者の正しい理解の促進	講演会等の開催 (～H23年度)	情報発信強化	(広島県緩和ケア支援センター)	
緩和ケアに係る講演会等への参加者数		2,401人 (～H23年度)	3,000人増	(広島県緩和ケア支援センター)	
<b>オ 県全体の総合的取組・拠点機能の強化</b>					
広島県緩和ケア支援センターの拠点機能強化		緩和ケア支援センター設置等 (H16～)	緩和ケア支援センターの機能強化	(広島県緩和ケア支援センター)	

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」, その他は「参考指標」

(5) 情報提供及び相談支援

項目	現状	目標	現状の出典
<b>ア がんに関する情報提供</b>			
◎ 総合的ながん対策に取り組む民間企業等の評価制度の創設による、民間企業等と連携したがん対策の実施	—	評価制度創設	—
「がん対策トータルサポート企業(仮称)」として評価する民間企業等の数	—	15社	—
「広島がんネット」のアクセス件数	24,783件 (H23年度)	現状より増	(広島県がん対策課)
<b>イ がん患者・家族等への相談対応</b>			
相談支援センターの院外相談件数	1,750件 (H23年度相談支援センター合計)	すべての相談支援センターで増	(広島県がん対策課)
相談支援センターの患者サロン参加者数	1,952人 (H23年度相談支援センター合計)	すべての相談支援センターで増	(広島県がん対策課)
◎ ピア・サポートによる相談支援センターと連携したがん相談の実施	—	連携による相談実施	—
ピア・サポートとして相談支援を行う人材の養成人数	—	22人	—
<b>ウ がん教育</b>			
◎ 子どもを対象としたがんの出前講座実施	—	全23市町	—
<b>エ がん患者・経験者等の就労支援</b>			
◎ ハローワークや社会保険労務士等との連携体制づくりを行っている相談支援センター	—	すべての相談支援センター	—
◎ 総合的ながん対策に取り組む民間企業等の評価制度の創設による、民間企業等と連携したがん対策の実施【再掲】	—	評価制度創設	—
「がん対策トータルサポート企業(仮称)」として評価する民間企業等の数【再掲】	—	15社	—

(6) がん登録

項目	現状	目標	現状の出典
<b>ア がん登録の精度向上</b>			
◎ 地域がん登録のDCN10%以下の維持 (がん登録の精度: 死亡情報で初めて把握された人の割合)	DCN9.9% (H20) ※上皮内がんを除く	DCN10%以下	広島県のがん登録 (広島県ほか)
地域がん登録協力医療機関の数	138施設 (H24.12)	150施設	(広島県がん対策課)
実務研修修了者配置の地域がん登録協力医療施設の割合	72.5% (100/138施設) (H24.12)	80%以上	(広島県がん対策課)
<b>イ がん登録データの活用</b>			
◎ 地域がん登録データによる生存率等の分析実施と、がん対策の企画・評価への活用	試行実施 (H23年度)	活用開始、分野拡大	(広島県がん対策課)
院内がん登録データを施設内のがん診療の実態把握と評価に活用	院内がん登録実施	診療の実態把握と評価	(広島県がん対策課)
地域がん登録資料の利用申請件数	平均7件 (H21-23年度)	平均10件	(広島県がん対策課)
<b>ウ 県民への情報提供と理解促進</b>			
◎ がん登録データの分析結果を踏まえた県民への情報提供	パンフレット作成等 (H24年度)	情報提供充実	(広島県がん対策課)

表の◎印は「全体目標」又は「分野目標」、その他は「参考指標」